詳しい情報は熊本市感染症情報をご覧ください

11月

令和8年(2026年)第45週　2026年11月2日(月)～2026年11月8日(日)

熊本市　感染症発生動向調査　速報

ノロウイルスは冬場に多発します

ノロウイルスによる感染性胃腸炎は一年を通して発生していますが、特に１１月から２月の寒い時期に流行します。感染経路は、食品からの感染と人からの感染があります。健康な方は軽症で回復しますが、子どもやお年寄り等では重症化したり、吐ぶつを誤って気道に詰まらせて死亡することがあります。感染力が強く、集団発生を起こしやすいため注意が必要です。

胃腸症状がある場合だけでなく、軽い症状または症状がなくてもウイルスを排出します。



汚染されたトイレを使用したり、汚物の処理等により付着したウイルスが、調理や盛り付け時に手指を介して感染します。



感染した人の飛まつや、空気中に漂ったウイルスが、口に入ることにより感染します。



♦ 主な症状 ♦ 潜伏期間（感染から発症までの時間）は24～48時間で、主な症状は吐き気、おう吐、下痢、腹痛であり、発熱は軽度です。通常、これらの症状が１～２日続いた後、治癒し、後遺症もありません。また、感染しても発症しない場合や軽い風邪のような症状の場合もあります。

手洗いは、手指に付着しているノロウイルスを減らす最も有効な方法です。

外出先からの帰宅時、調理の前後や食事前、トイレに行った後、患者の汚物処理やオムツ交換等を行った後（手袋をして直接触れないようにしていても）など、こまめに手を洗いましょう。

患者のふん便や吐ぶつを適切に処理し、感染を広げないようにしましょう。

ノロウイルスに感染した人のふん便や吐ぶつには大量のウイルスが排出されます。おむつや吐ぶつの処理、食器、リネン、日用品などの消毒は、次亜塩素酸ナトリウムが有効です。

定点種別	疾患名	状況	44週(10/26～11/1)		45週(11/2～11/8)	
			報告数	定点当り	報告数	定点当り
急性呼吸器感染症（ARI）	インフルエンザ	－	178	7.74	176	7.65
	新型コロナウイルス感染症(COVID-19)		4	0.17	4	0.17
	急性呼吸器感染症(ARI)		1061	46.13	1164	50.61
小児科	RSウイルス感染症		8	0.57	8	0.57
	咽頭結膜熱(プール熱)	－	1	0.07	1	0.07
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	－	13	0.93	14	1.00
	感染性胃腸炎	－	39	2.79	45	3.21
	水痘(みずぼうそう)	－	3	0.21	1	0.07
	手足口病	－	6	0.43	5	0.36
	伝染性紅斑(りんご病)	－	0	0.00	0	0.00
	突発性発しん		6	0.43	6	0.43
	ヘルパンギーナ	－	22	1.57	20	1.43
	流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	－	2	0.14	1	0.07
眼科	急性出血性結膜炎	－	0	0.00	0	0.00
	流行性角結膜炎(はやり目)	－	5	1.00	5	1.00
基幹	細菌性髄膜炎		0	0.00	0	0.00
	無菌性髄膜炎		1	0.20	1	0.20
	マイコプラズマ肺炎		0	0.00	0	0.00
	クラミジア肺炎(オウム病を除く)		0	0.00	0	0.00
	感染性胃腸炎(ロタウイルス)		0	0.00	0	0.00

※「状況」欄は、疾患ごとの警報・注意報レベルを表示しています。表中の斜線は、基準値が定められていないことを示します。
　○:警報レベル　△:注意報レベル　－:警報・注意報レベルなし